

練習に励み そば打ち甲子園で優勝を目指す

盛岡農業高校 そば研究班

遠藤 悠太 さん

えんどう・ゆうた 17歳 寺田新田 Ⅱ



平成12年生まれ。西根第一中を卒業後、盛岡農高に入学し、現在3年生。高校2年時からそば研究班に所属し、そば打ちと柔道部の活動を両立。今年の県高総体柔道競技個人戦100kg超級でベスト8に入賞し、部活動を引退。来月に開催されるそば打ち甲子園に臨む。

盛岡農業高校食品科学科のそば研究班に所属する遠藤悠太さん。昨年8月に出場した第7回全国高校そば打ち選手権大会団体の部で、3位に続く7校に贈られる敢闘賞を受賞しました。

そば打ち甲子園と呼ばれる同大会には30校が出場。制限時間40分で4人が4分ごとに交代しながら二八そば1キを仕上げます。水回しやこね、のし、切りなどの各工程のほか、準備や後片付けも審査の対象となります。繊細な力加減が必要なそば打ちで、遠藤さんは「抜いた力で打つように意識しました。緊張もあつたが、集中力を切らさずに練習の成果を発揮できて良かった」と笑顔で振り返ります。

高校1年の頃、そば打ち甲子園に初出場して敢闘賞を受賞した当時の3年生に憧れ、2年時にそば研究班を選択。始めは、そば打ちのこつがつかめず悩みましたが、宮城手打ちそば研究



鏡開き交流柔道大会参加者の子どもたちに振る舞うそばを切る遠藤さん(左) (1月6日、寺田コミュニティセンター)

会で5段位の柏倉寛充代表から基礎や所作の指導を受け、技術習得に励みました。昨年の10月に挑戦した素人そば打ち段位認定階上大会では、初段位に合格し、初段位の最優秀賞にも輝きました。「そばを打つたびに改善点が出てきて、さらに良い物を作りたいと夢中になりました」と笑顔が浮かべます。

8月20日に開催される、高校最後のそば打ち甲子園に出場する遠藤さんは「班員一人一人が練習し、改善を重ねて、団体優勝を目指したい」と意気込みました。

編集後記

▽キラリ輝人の遠藤さんが打ったそばをいただき、我が家で大好評。10月27・28日の盛農祭で、そば研究班の手打ちそばが販売されます。(竜)
▽奇木小の南極クラスの取材に行きました。ユーモアを交えたトークに、子どもたちの撮影そっこの学校で開催されなかなあ。(多)

【広告】

サマージャンボ7億円
(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)

サマージャンボミニ7,000万円
(1等5千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

7月9日 2種類同時発売! 発売期間 7/9日~8/3日
抽せん日 8/14日

各1枚 300円

公益財団法人岩手県市町村振興協会